

解説集 初学者問題集

問 1

【要介護認定の基本設計】() に当てはまる言葉を選んでください。

要介護認定は、一次判定ソフトによる判定から、介護認定審査会における認定まで、原則として、() の判断によって審査が行われる。

回答	【解説】
<input type="checkbox"/> 身体的能力	【要介護認定について】 要介護認定は、原則として、要介護認定等基準時間と呼ばれる「介護の手間」の判断によって審査が行われます。この審査の考え方は、制度が実施されてから、今日まで変わっていません。
<input type="checkbox"/> 身体の状態像	
<input checked="" type="radio"/> 介護の手間	

問 2

【評価軸】

次のうち、介助の方法で評価する基本調査項目はどれですか。

回答	【解説】
<input type="checkbox"/> 起き上がり	【3つの評価軸について】 「歩行」「起き上がり」は“能力”で評価する基本調査項目です。また、「金銭の管理」は、金銭管理についてどのような介助が行われているかを評価する“介助の方法”の基本調査項目です。
<input type="checkbox"/> 歩行	
<input checked="" type="radio"/> 金銭の管理	

問 3

【特記事項】

介護の手間の平均的な出現頻度の記載方法について、もっとも適切なものは次のどれですか。

回答	【解説】
<input type="checkbox"/> 頻繁に	【頻度の記載方法】 「ときどき」「頻繁に」のように、人によってイメージする量が一定でない言葉を用いることは、望ましくありません。 <u>平均的な手間の出現頻度について週に 2、3 回というように数量を用いて具体的な頻度を記載します。</u>
<input checked="" type="radio"/> 週 2 回	
<input type="checkbox"/> ときどき	

問 4

【能力】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

「寝返り」「起き上がり」「歩行」などを、習慣的に体を支える目的ではなく、自分の体の一部を支えにして、行うことができる（支えにしないとできない）。

回答		【解説】
	つかまらないでできる	【自分の体を支えにして行う場合】 自分の体の一部を支えとしている場合は、「何かにつかまればできる」等を選択します。
<input type="radio"/>	何かにつかまればできる	
	できない	

問 5

【介助の方法】正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

一部介助を選択する場合でも、具体的な介護の手間には個人差があるため、特記事項に介護の手間と頻度を記載する。

回答		【解説】
<input type="radio"/>	○	【介助の方法の選択肢と特記事項】 同じ選択肢であっても、介助量としては大きな幅を持っています。具体的な介助の量の多寡については特記事項に記載します。特記事項の記載に基づいて必要に応じて二次判定（介護の手間にかかる審査判定）で具体的な介助量を確認、検討します。
	×	

問 6

【介助の方法】（ ）に当てはまる言葉を選んでください。

基本調査では、「一定期間」（ ）の状況において、より頻回に見られる状況に基づき選択する。（つめ切りを除く。）

回答		【解説】
<input type="radio"/>	調査日より概ね過去 1 週間	【頻回について】 基本調査では、一定期間（調査日より概ね過去 1 週間）の状況において、より頻回に見られる状況に基づき選択を行います。（つめ切りは調査日より概ね過去 1 か月）。 その場合、その日頃の状況等について、具体的な内容を特記事項に記載します。
	調査日より概ね過去 2 週間	
	調査日より概ね過去 1 か月	

問 7

【有無（麻痺等、拘縮）】

実際に試行した状況と、介護者から聞き取りした日頃の状況が異なる場合の選択方法について、正しいものはどれですか。

回答		【解説】
<input type="checkbox"/>	常に、実際に行った結果で選択する	【実際に行ってもらった状況と、日頃の状況とが異なる場合】 基本調査では、一定期間（調査日より概ね過去1週間）の状況において、より頻回に見られる状況に基づき選択を行ってください。 また、特記事項に、実際に行ってもらった状況と、日頃の状況との違いなど、具体的な内容を記載してください。
<input type="checkbox"/>	常に、聞き取りした状況で選択する	
<input checked="" type="radio"/>	常に、より頻回に見られる状況に基づき選択する	

問 8

【有無（BPSD 関連）】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

場面や目的から見て不適当な行動が2日に1回あるが、介護の手間が発生していない。

回答		【解説】
<input checked="" type="radio"/>	ある	【基本調査について】 BPSD 関連の基本調査項目は、過去1か月間の状況から、現在の環境でその行動が現れたかどうかに基づいて選択します。これらの行動に対して、特に周囲が対応をとっていない場合や介護の手間が発生していても、各項目に規定されている行動が現れている場合は、頻度に基づき選択します。
<input type="checkbox"/>	ときどきある	
<input type="checkbox"/>	ない	

問 9

【1-4 起き上がり】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

体を支える目的ではなく、習慣的にベッド上に手をつけて起き上がる。

回答		【解説】
<input checked="" type="radio"/>	つかまらないでできる	【起き上がりの選択基準】 何にもつかまらないで自力で起き上がることができる場合は、「つかまらないでできる」を選択します。習慣的に、体を支える目的ではなく、ベッド上に手や肘をつきながら起き上がる場合も「つかまらないでできる」を選択します。
<input type="checkbox"/>	何かにつかまればできる	
<input type="checkbox"/>	できない	

問 10

【1-7 歩行】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

調査当日に試行したところ歩けなかったが、家族の話では日頃は5m程度ならつかまらずに歩けるとのことである。		
回答	【解説】	
<input type="radio"/> つかまらないでできる	【実際に行ってもらった状況と、日頃の状況とが異なる場合】 基本調査では、一定期間（調査日より概ね過去1週間）の状況において、より頻回な状況に基づき選択を行います。 また、特記事項に、実際に行ってもらった状況と、日頃の状況との違いなど、具体的な内容を記載します。	
<input type="radio"/> 何かにつかまればできる		
<input type="radio"/> できない		

問 11

【1-8 立ち上がり】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

自分の体の一部を支えにして立ち上がっている（支えにしないと立ち上がれない）。		
回答	【解説】	
<input type="radio"/> つかまらないでできる	【調査上の留意点】 自分の体の一部を支えにして立ち上がる場合や、習慣的ではなく体を支える目的でテーブルや椅子の肘掛等にしっかりと加重して立ち上がる場合（加重しないと立ち上がれない場合）は「何かにつかまればできる」を選択します。	
<input checked="" type="radio"/> 何かにつかまればできる		
<input type="radio"/> できない		

問 12

【1-12 視力】（ ）に当てはまる言葉を選んでください。

「視力」は、（ ）かどうかで評価する。		
回答	【解説】	
<input checked="" type="radio"/> 見える	【視力の定義】 「視力」とは、見えるかどうかの“能力”を評価する基本調査項目です。 その行為ができないことによって介助が発生しているかどうか、あるいは日常生活上の支障があるかないかは、基本調査項目の選択基準に含まれません。	
<input type="radio"/> 見えないことで日常生活上支障がある		
<input type="radio"/> 見えないことで介助が発生している		

問 13

【1-10 洗身】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

週に3回、デイサービスで入浴し全介助にて洗身を行い、残りの4日間は入浴機会がない。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

回答		【解説】
	行っていない	【発生頻度の少ない行為について】 週のうちの介助のある日数で評価するのではなく、発生している行為量に対して、どれだけ頻回に“介助”が行われているかを評価します。 設問の場合、週3回の行為の機会において、3回とも全介助であるため、「全介助」を選択します。
	一部介助	
<input checked="" type="radio"/>	全介助	

問 14

【2-2 移動】正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

室内の移動について、離れた場所から見守っているため「見守り等」を選択した。

回答		【解説】
	○	【移動の選択基準】 ここでいう「見守り等」とは、常時の付き添いの必要がある「見守り」や、認知症高齢者等の場合に必要な行為の「確認」「指示」「声かけ」等のことです。
<input checked="" type="radio"/>	×	

問 15

【2-4 食事摂取】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

中心静脈栄養のみで、経口での食事は全く摂っていない。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

回答		【解説】
	介助されていない	【食事摂取の選択基準】 経管栄養、中心静脈栄養のための“介助”が行われている場合は、「全介助」を選択します。 特別な医療の要件にも該当する場合は、両方に選択を行います。
	見守り等	
<input checked="" type="radio"/>	全介助	

問 16

【2-5 排尿】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

おむつを使用しており、自分で準備から後始末まで行っている。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)	
回答	【解説】
<input type="radio"/> 介助されていない	【調査上の留意点】 「排尿」の“介助”が行われているかどうかを評価する項目です。おむつや尿カテーテル等を使用している場合でも、自分で準備から後始末まで行っている場合は、「介助されていない」を選択します。
見守り等	
全介助	

問 17

【1-1 麻痺等の有無】

次のうち、麻痺について該当部位を「ある」と選択するのはどれですか。(確認動作と日頃の状況は同様と考えてください。)	
回答	【解説】
深部感覚の障害等で運動にぎこちなさがあるが、確認動作が行える	【調査上の留意点】 「麻痺等」とは、神経又は筋肉組織の損傷、疾病等により、筋肉の随意的な運動機能が低下又は消失した状況をいいます。
補装具（義足など）を使用している場合で、使用している状況では確認動作が行えるが、使用していないと確認動作が行えない	なお、確認動作が行え、日頃の状況も同様の場合は「ない」を選択します。 深部感覚の障害等により運動にぎこちなさがある場合であっても、確認動作が行えるかどうかで選択します（傷病名、疾病の程度は問いません）。
<input checked="" type="radio"/> パーキンソン病で随意的な運動機能が低下し、確認動作が行えない	福祉用具を使用している場合は、使用している状況で基本調査項目の選択肢を選択します。

問 18

【1-2 拘縮の有無】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

日頃より、肩関節は他動的に動かせば動くが、自分では関節の動く範囲に制限がある。	
回答	【解説】
<input type="checkbox"/> 肩関節	【拘縮の有無の定義】 「拘縮」とは、対象者が可能な限り力を抜いた状態で他動的に四肢の関節を動かした時に、関節の動く範囲が著しく狭くなっている状況をいいます。他動的に動かしてみて制限がある場合が該当し、自力では動かさないという状態だけでは該当しません。
<input type="checkbox"/> その他	
<input checked="" type="checkbox"/> ない	

問 19

【4-5 同じ話をする】() に当てはまる言葉を選んでください。

基本調査の選択肢の選択では、単に同じ話をするのではなく、() かどうかで選択する。	
回答	【解説】
<input checked="" type="checkbox"/> 場面や目的から見て不適当な行動がある	【同じ話をするの定義】 基本調査は、「しつこく同じ話をする」行動の頻度を評価します。もともと、性格や生活習慣から、単に同じ話をするものではありません。対象者への対応や介護の手間の状況については、特記事項に頻度とともに記載し、介護認定審査会の二次判定の判断を仰ぐことが重要です。
<input type="checkbox"/> 介護の手間が発生している	
<input type="checkbox"/> 周囲が迷惑している	

問 20

【過去 14 日間にうけた特別な医療（ストーマ（人工肛門））】

ストーマについて、次のうち、「ある（該当する）」を選択するものはどれですか。	
回答	【解説】
<input checked="" type="checkbox"/> 医師による消毒	【特別な医療の定義】 医師、または、医師の指示に基づき看護師等によって実施される医療行為に限定されます。家族、介護職種の行う類似の行為は含みませんが、「7. 気管切開の処置」における開口部からの喀痰吸引（気管カニューレ内部の喀痰吸引に限る）及び「9. 経管栄養」については、必要な研修を修了した介護職種が医師の指示の下に行う行為も含みます。
<input type="checkbox"/> 家族による消毒	
<input type="checkbox"/> 本人と家族による消毒	